

ULVAC

株式会社 アルバック

# 決算説明資料

2021年度 第3四半期 2021年7月~2022年3月

2022年5月12日

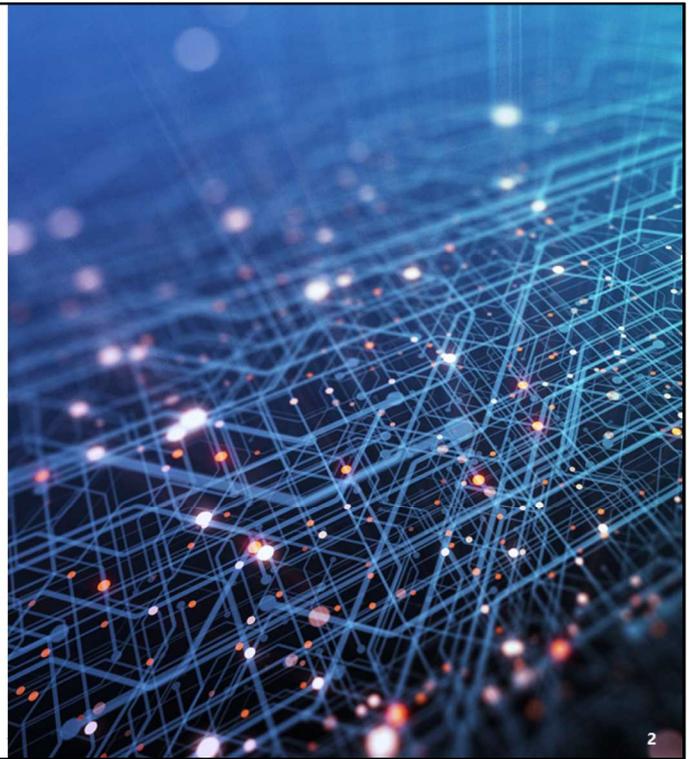
証券コード：6728

Breakthrough 2022

## 将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おください。



**3Q累計の受注高・売上高・営業利益は前年同期比大幅増加****受注高** 2,042億円 (前年同期比+53%)

- ・ 半導体：ロジック・メモリともに投資活発化
- ・ 電子：パワーデバイス・各種電子デバイス投資活発化
- ・ FPD：ITパネル向けLCD投資活発化

**売上高** 1,661億円 (前年同期比+29%)

- ・ 部品長納期化等の影響はあるものの増加

**営業利益** 195億円 (前年同期比+92%)

- ・ 3Qの営業利益率は13.5% (前年同期比+3.8pt) に大幅改善

**4Qは3Q同様順調に推移しており、今期業績予想は開示基準に則り適時対応**

- ・ 引き続き高水準の受注高により成長シナリオに変更なし

本日説明するポイントは、

3Q累計実績は、半導体・電子、FPDを中心に受注高・売上高ともに好調に推移し、受注高は前年同期比53%増、売上高は29%増、営業利益は92%増とそれぞれ大幅に増加しました。

受注環境は、半導体はロジック・メモリともに投資が活発化し、受注も大幅に増加しました。電子もパワーデバイスや各種電子デバイス投資が活発化し、受注も増加しました。

FPDもITパネル向けLCD投資が活発化し、受注高は2倍以上に増加しました。

売上高は、部品長納期化等の影響もありましたが、29%の増加となりました。

営業利益も92%増加しました。

3Qの営業利益率は13.5%と前年同期比3.8pt改善しました。

なお、4Qの受注・売上も3Q同様に順調に推移していますが、今期業績予想については、適時開示基準までには至りませんでしたので、修正等を行っておりません。今後、適時開示基準に則り、適時、対応します。

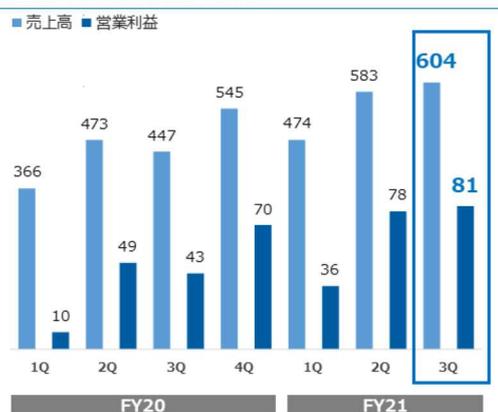
引き続き半導体・電子・FPDを中心とした高水準の受注高により成長シナリオに変更はありません。

# 1. 2021年度3Q（累計）業績概要

- 受注高：半導体・電子・FPD投資活発化等により、前年同期比**53%増加**
- 売上高：前年同期比**29%増加**、営業利益：前年同期比**92%増加**
- 営業利益率：11.8%（前年同期比**+3.9pt**）に改善

【単位：億円】	2020年度		2021年度	
	3Q（累計）	3Q（累計）	前年同期比	
受注高	1,331	<b>2,042</b>	+710	<b>+53%</b>
売上高	1,285	<b>1,661</b>	+376	<b>+29%</b>
売上総利益	367	<b>508</b>	+141	<b>+38%</b>
率	28.5%	<b>30.6%</b>	+2.0pt	-
販管費	265	<b>312</b>	+47	-
営業利益	102	<b>195</b>	+94	<b>+92%</b>
率	7.9%	<b>11.8%</b>	+3.9pt	-
経常利益	101	<b>204</b>	+103	<b>+102%</b>
率	7.9%	<b>12.3%</b>	+4.4pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	83	<b>138</b>	+55	<b>+67%</b>
率	6.4%	<b>8.3%</b>	+1.9pt	-

売上高と営業利益の推移



3Q累計の業績は、受注高は半導体・電子・FPDの投資活発化等により前年同期比710億円増加の2,042億円となり、売上高は376億円増加の1,661億円、営業利益は94億円増加の195億円で92%増、当期純利益も55億円増加の138億円で67%増となりました。

3Q累計の営業利益率は11.8%となり3.9pt改善しました。

3Qの売上高は604億円、営業利益は81億円と2Qを更に上回りました。

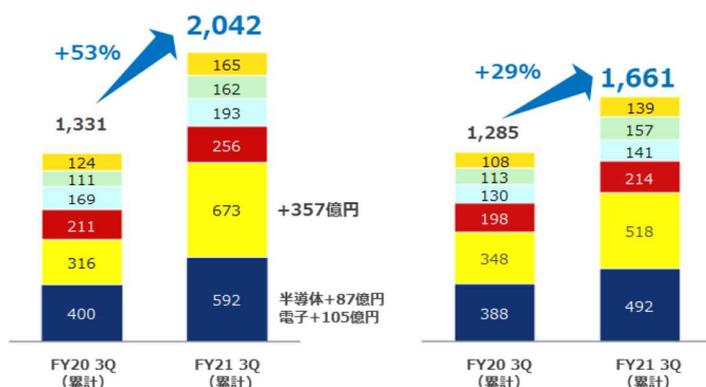
## 2. 品目別受注高・売上高（3Q累計）：投資活発化等により大幅増加

- 半導体・電子・FPDの投資活発化等により、受注高・売上高とも大幅増加
- 受注高・売上高とも全品目で前年同期比増加

受注高 [単位：億円]

売上高 [単位：億円]

■ 半導体及び電子部品製造装置 ■ コンポーネント ■ 材料  
■ FPD製造装置 ■ 一般産業用装置 ■ その他



### 受注高

- 半導体：ロジック・メモリともに投資活発化、前年同期比 **1.5倍**
- 電子：パワーデバイス・各種電子デバイスが増加、前年同期比 **1.5倍**
- FPD：ITパネル向けLCD・スマートフォン向けOLED等の投資が活発化、前年同期比 **2.1倍**

### 売上高

- 半導体(前年同期比 **1.3倍**)・電子(前年同期比 **1.3倍**)・FPD(前年同期比 **1.5倍**)等中心に前年同期比増加

半導体・電子・FPDの投資活発化等により、受注高・売上高とも大幅に増加しました。

半導体はロジック・メモリともに投資が活発化し、前年同期比87億円増加し1.5倍となりました。

電子はパワーデバイスや各種電子デバイスが増加し105億円増加し1.5倍となりました。

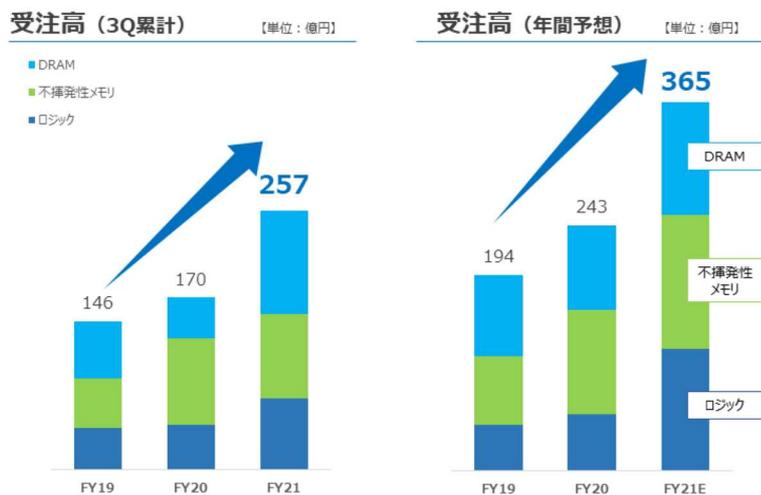
FPDはITパネル向けLCD・スマートフォン向けOLED等の投資が活発化したため、357億円増加し2.1倍となりました。

コンポーネントもエレクトロニクス関連を中心に45億円増加、一般産業もEVモーター等自動車向けを中心に24億円増加しました。材料も半導体電子やFPDの顧客稼働率上昇により51億円増加し、その他も表面分析装置が好調で41億円増加し、全品目で前年同期を上回りました。

売上高についても、半導体・電子ともに1.3倍となり、FPDも1.5倍に、その他の品目もすべて増加しました。

### 3. 半導体：ロジック・メモリともに投資拡大継続

- ロジック・ファウンドリー、メモリともに投資拡大継続
- ロジック EUVのMHM(メタルハードマスク) 工程でデファクトスタンダード⇒ビジネスチャンス拡大



#### 投資動向

- ・ データセンター投資拡大、スマートフォン・自動車等への半導体搭載増加と微細化・低消費電力化など最先端半導体投資活発化
- ・ 地政学リスクに対応した地域サプライチェーンの構築 ⇒半導体投資は中長期的に投資拡大継続

#### 受注動向

- ・ ロジック MHM (前年同期比**1.6倍**)、メモリ (前年同期比**1.5倍**) ともに増加

半導体は、データセンター投資の拡大やスマートフォン・自動車等への半導体搭載増加に対応した投資とともに微細化・低消費電力化など最先端半導体投資も活発化しています。

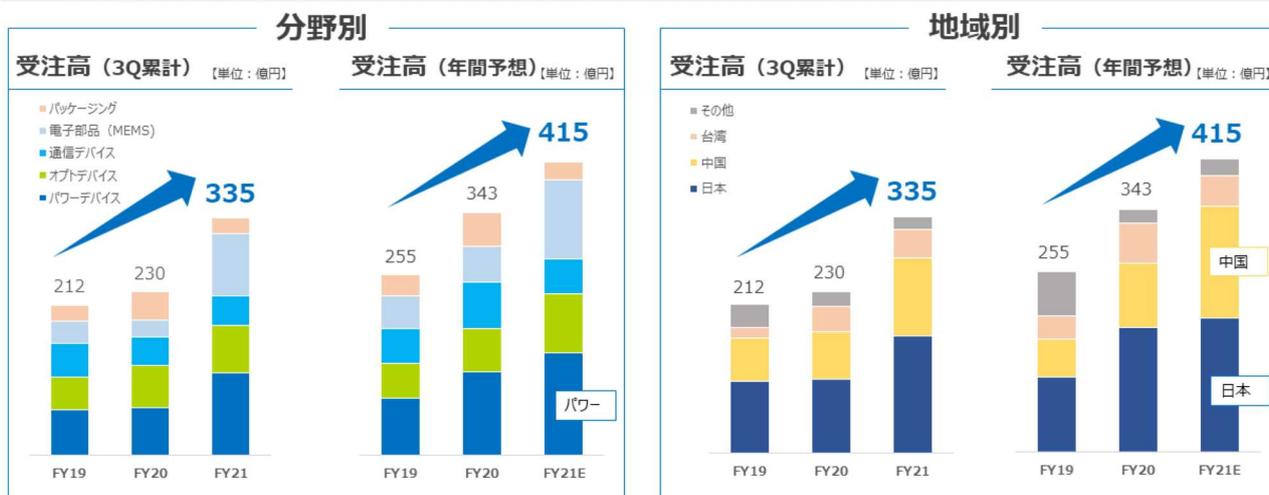
加えて、地政学リスクに対応した地域サプライチェーン構築も今後本格化する見込みで、半導体投資は中長期的に投資拡大が継続すると見込まれます。

こうした中、EUVに関連したMHM工程でのロジック受注が前年同期比1.6倍となりました。MHM工程でデファクトスタンダードとなったことから、他工程・メモリ等でのビジネスチャンス拡大にも結び付いています。

メモリも1.5倍と順調に増加しました。

## 4. 電子：パワーデバイス・各種電子デバイス等投資活発化

- パワーデバイス（前年同期比**1.7倍**）・各種電子デバイス等の投資活発化（日本・中国）
- 中国（前年同期比**1.7倍**）は国産化方針もあり投資活発化
- 多様な電子デバイス分野・アプリケーション向け装置ラインアップにより技術革新に貢献



電子は、パワーデバイスが前年同期比1.7倍となり、各種電子デバイスも1.3倍になるなど日本・中国を中心に投資が活発化しました。

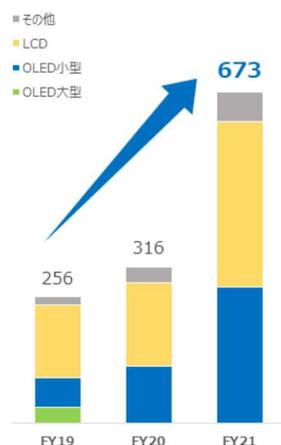
特に中国は政府の国産化方針もあり、パワーデバイス中心に投資が活発化し、1.7倍となりました。

多様な電子デバイス分野・アプリケーション向け装置のラインアップが揃っていることが当社グループの強みとなっており、スマート社会実現や低消費電力化などの技術革新に貢献しながらビジネスを拡大しています。

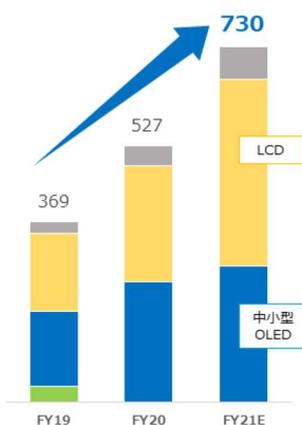
## 5. FPD : ITパネル向けLCD投資活発化

- ITパネル向けLCD投資活発化・スマートフォン用OLED投資継続

受注高 (3Q累計) 【単位：億円】



受注高 (年間予想) 【単位：億円】



### 投資動向

- ・ ITパネル向け (タブレット・PC・医療用・車載用・ゲーム用など) の高精細・広視野角LCD投資活発化
- ・ OLED化進展 (モバイル+ITパネル+TV)

### 受注動向

- ・ ITパネル向けLCD設備増強、スマートフォン用OLED投資等により、3Q累計で前年同期比**2.1倍**に大幅増加
- ・ 今後も、OLED化進展、EVバッテリービジネス等により現状の高水準を維持

FPDはタブレット・PC・医療用・車載用・ゲーム用などのITパネル向けの高精細化・広視野角化のためのLCD投資が活発化し、スマートフォン用OLED投資も継続したため、3Q累計の受注は前年同期比2.1倍の673億円に大幅増加しました。

今後については、LCDからOLEDへのシフトがモバイル・TVに加えて、ITパネルでも進み、大型ガラス基板のOLED投資が増加するものと考えており、OLED化進展やEVバッテリービジネス等により、FPDは現状の高水準を維持していきます。

## 6. 利益率推移（四半期）：前年同期比改善

- 売上総利益率30.8%（前年同期比+1.0pt）、営業利益率13.5%（前年同期比+3.8pt）と改善
- 営業利益は原材料価格高騰の中、前四半期を上回る水準

売上総利益率 【単位：億円、%】



営業利益率 【単位：億円、%】



売上総利益率は、前年同期比 1 pt改善し、30.8%に、営業利益率は3.8pt改善し13.5%となりました。  
3Qの営業利益81億円は、原材料価格が高騰する中、前四半期の78億円を上回る水準を達成しました。

### 「健康経営優良法人2022」認定

健康増進を重要な経営課題と位置づけ、健康経営への取り組みを継続・発展させていきます。

### 「健康経営優良法人2022（ホワイト500）」大規模法人部門

アルバック（5年連続）

### 「健康経営優良法人2022」中小規模法人部門

アルバックテクノ（3年連続）、アルバック販売（4年連続）、  
アルバック・ファイ（3年連続）、タイゴールド（2年連続）、REJ（2年連続）  
アルバック健康保険組合（2年連続）、アルバック・クライオ（新規）



### 森林再生パートナー制度への参画

サステナビリティ推進活動の一環として、神奈川県が推進している「かながわ森林再生50年構想」に賛同し、森林の再生に取り組んでいきます。活動を通じて、低炭素対策・生態系保全等、地球にやさしく持続可能な社会づくりに貢献していきます。



### FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 構成銘柄に選定

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が2022年3月30日に採用を発表した新たなESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

### 茅ヶ崎市民向け新型コロナワクチン集団接種会場提供

3月19日、茅ヶ崎本社・工場を茅ヶ崎市民向けに3回目ワクチン接種会場として提供しました。

### BOE社から「ベストサプライヤー賞」と「ベスト安全メーカー賞」 同時受賞

BOE社（BOE Technology Group Co., Ltd.）より、FPDのバックプレーン工程における品質・納期・セットアップ対応などが優秀だとして「ベストサプライヤー賞」を受賞しました。同時に、「ベスト安全メーカー賞」も受賞しました。

3Qのトピックスをまとめています。

健康経営優良法人のホワイト500に5年連続で認定されました。今後も健康経営への取り組みを継続・発展させてまいります。

また、神奈川県森林再生パートナー制度にも参画し、森林再生への取り組みを通じて、低炭素対策・生態系保全など地球にやさしく持続可能な社会づくりに貢献していきます。

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 構成銘柄に選定されました。

3月には茅ヶ崎市民向けに3回目のコロナワクチン集団接種会場として茅ヶ崎本社・工場を提供しました。

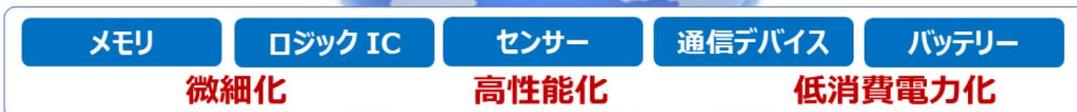
中国最大手のパネルメーカーBOEから「ベストサプライヤー賞」と「ベスト安全メーカー賞」をダブル受賞しました。

スマート社会・  
デジタル社会実現



グリーンエネルギー化  
低消費電力化

社会的課題解決



アルバックは、メモリ・ロジック・センサー・通信デバイス・バッテリーなど様々な分野で微細化・高性能化・低消費電力化の実現を技術革新で支えることで、スマート社会・デジタル社会の実現、グリーンエネルギー化・低消費電力化などの社会的課題の解決に貢献していきます。

説明は以上です。



## 補足資料

## 四半期連結業績推移

ULVAC

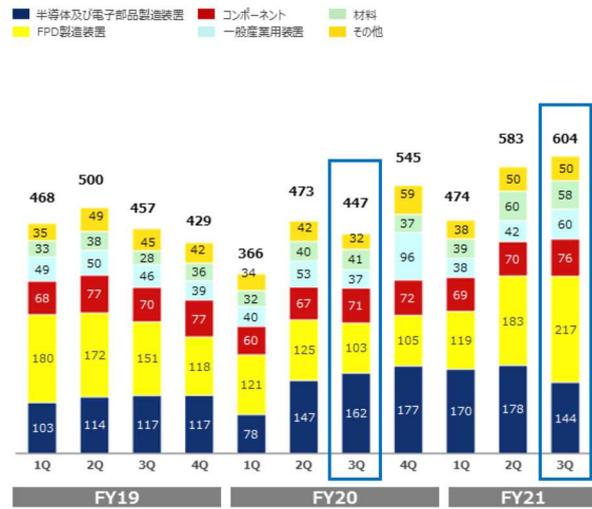
【単位：億円】	2020年度				2021年度				前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減額	増減率	
	受注高	312	598	421	658	663	783	596	+175	+41%
売上高	366	473	447	545	474	583	604	+157	+35%	
売上総利益	94	139	134	171	132	189	186	+53	+40%	
率	25.7%	29.5%	29.9%	31.4%	27.9%	32.4%	30.8%	+1.0pt	-	
販管費	84	91	90	101	97	110	105	+15	+16%	
営業利益	10	49	43	70	36	78	81	+38	+89%	
率	2.7%	10.3%	9.6%	12.9%	7.5%	13.5%	13.5%	+3.8pt	-	
経常利益	10	50	41	78	35	85	84	+43	+105%	
率	2.8%	10.6%	9.2%	14.4%	7.4%	14.6%	13.9%	4.7pt	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3	42	37	66	22	59	56	+19	+51%	
率	0.9%	8.9%	8.3%	12.0%	4.7%	10.1%	9.3%	1.0pt	-	

# 品目別受注高・売上高推移（四半期）

受注高 【単位：億円】



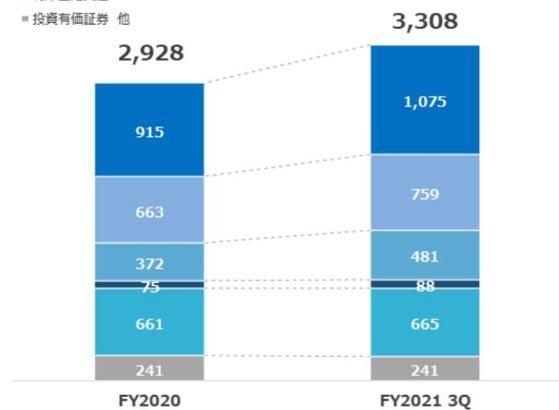
売上高 【単位：億円】



# 連結貸借対照表

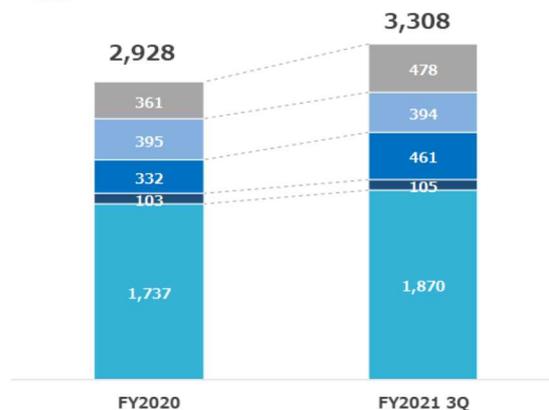
## 資産 【単位：億円】

- 現金・預金
- 受取手形・売掛金
- 棚卸資産
- その他の流動資産
- 有形固定資産
- 投資有価証券 他



## 負債・純資産 【単位：億円】

- 支払手形・買掛金
- 有利子負債
- その他流動負債
- その他固定負債
- 純資産



# さまざまな業界・用途で貢献する アルバックの真空技術



ULVAC